

平成28年度 社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

1. [年齢階級別退院患者数](#)
2. [診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
3. [初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数](#)
4. [成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
5. [脳梗塞のICD10別患者数等](#)
6. [診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
7. [その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）](#)

年齢階級別退院患者数

[ファイルをダウンロード](#)

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	147	129	277	362	327	419	841	1098	1218	340

平成28年度の退院患者数（集計対象患者数）は5,158人であり、特に60歳以上の患者さんが多く全体の68%となっております。また70歳以上の患者さんは全体の51%を占めており、2人に1人は70歳以上の患者さんです。年齢階級別の割合は前年度とほぼ同じ傾向です。当院の所在する中讃医療圏では回復期病床数が少ないこともあり、院内のみならず院外からも急性期治療後の場として地域包括ケア病棟を利用いただき、在宅に復帰するための支援を行っております。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

■ 内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
040081XX99X00X	誤嚥性肺炎 手術なし 処置2なし 定義副傷病なし	50	39.4	21.3	20.0	83.5	
030400XX99XXXX	前庭機能障害 手術なし	34	4.5	5.2	0.0	67.4	
150010XXXXX0XX	ウイルス性腸炎 処置2なし	25	11.0	5.5	4.0	53.2	
100380XXXXXXXX	体液量減少症	24	14.8	9.3	8.3	75.5	
110310XX99XX0X	腎臓または尿路の感染症 手術なし 定義副傷病なし	22	19.4	12.4	4.5	78.3	

当科は総合内科、血液内科、糖尿病センター、神経内科の4科から構成しています。誤嚥性肺炎、市中肺炎、めまい、腸炎、脱水症、尿路感染症、急性薬物中毒の患者数が多く平均年齢も75歳以上の疾患が多くなっています。糖尿病治療においては日本糖尿病学会指導医が在籍し、主に地域包括ケア病棟にて入院治療を行っているため集計対象外となっております。市中肺炎については疾患分類が多様になったため上位疾患にはないですが患者数は多くなっています。

■ 消化器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
040081XX99X00X	誤嚥性肺炎 手術なし 処置2なし 定義副傷病なし	41	35.9	21.3	24.4	83.4	
060102XX99XXXX	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患 手術なし	24	8.8	7.9	0.0	54.1	
060340XX03X00X	胆管（肝内外）結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 処置2なし 定義副傷病なし	22	18.3	11.1	4.5	76.2	
060210XX99000X	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 処置1なし 処置2なし 定義副傷病なし	20	13.6	9.1	0.0	77.8	
060340XX99X00X	胆管（肝内外）結石、胆管炎 手術なし 処置2なし 定義副傷病なし	18	20.4	9.9	0.0	77.1	

当科は誤嚥性肺炎、市中肺炎の呼吸器疾患について呼吸器内科医師と協力して診療しているため患者数が多くなっています。大腸憩室炎、イレウスの患者数も上位を占めています。また胆管結石、胆管炎、胃瘻等の治療は患者さんの負担が少ないよう内視鏡下で行っています。市中肺炎については疾患分類が多様になったため上位疾患にはないですが患者数は多くなっています。集計対象外ですが、内視鏡を用いた大腸ポリープの治療も数多く行っています。

■ 循環器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
050050XX99100X	狭心症, 慢性虚血性心疾患 手術なし 処置等 1__1あり 処置 2なし 定義副傷病なし	60	2.5	3.1	0.0	68.1	
050050XX02000X	狭心症, 慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 処置等 1__なし, 1, 2あり 処置 2なし 定義副傷病なし	38	3.6	4.7	0.0	68.7	
050130XX99000X	心不全 手術なし 処置 1なし 処置 2なし 定義副傷病なし	32	22.3	18.0	15.6	81.7	
050210XX97000X	徐脈性不整脈 手術あり 処置等 1__なし, 1, 3あり 処置 2なし 定義副傷病なし	19	15.3	11.4	10.5	78.1	
050050XX99200X	狭心症, 慢性虚血性心疾患 手術なし 処置等 1__2あり 処置 2なし 定義副傷病なし	14	2.4	3.2	0.0	75.6	

当科は日本人の死因第2位は循環器疾患であり、中でも生活習慣病から進展することの多い狭心症の患者数が多いです。その治療は心臓カテーテルにて行えるため平均在院日数は全国より短くなっています。心不全については薬剤治療、リハビリ等を行っています。また徐脈性不整脈ではペースメーカー移植術を行い、ペースメーカー管理も行っています。

■ 小児科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
140010X199X00X	妊娠期間短縮, 低出産体重に関連する障害 (出生時体重 2 5 0 0 g 以上) 手術なし 処置 2なし 定義副傷病なし	21	6.2	6.2	9.5	0.0	
150010XXXXX0XX	ウイルス性腸炎 処置 2なし	-	3.0	5.5	0.0	3.2	
040090XXXXX0XX	急性気管支炎, 急性細気管支炎, 下気道感染症 (その他) 定義副傷病なし	-	4.7	6.0	0.0	0.3	
140010X299X0XX	妊娠期間短縮, 低出産体重に関連する障害 (出生時体重 1 5 0 0 g 以上 2 5 0 0 g 未満) 手術なし 処置 2なし	-	18.7	11.6	0.0	0.0	
150020XXXXX0XX	細菌性腸炎 処置 2なし	-	6.3	7.2	0.0	5.3	

当科は腸炎、気管支炎の患者数が上位を占めています。また出生後の低体重に関連する障害である低出生体重児、早産児、新生児呼吸障害などは産科と協力して診療しています。なお患者数10未満は「- (ハイフン)」を入力しています。

■ 外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
060150XX03XXXX	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等	17	6.1	5.6	0.0	34.1	
050180XX97XXXX	静脈・リンパ管疾患 その他の手術あり	16	2.6	3.3	0.0	62.8	
060160X002XXXX	鼠径ヘルニア (1 5 歳以上) 腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術 (両側)	16	5.8	5.0	0.0	59.8	
060160X001XXXX	鼠径ヘルニア (1 5 歳以上) ヘルニア手	13	5.9	5.3	0.0	75.3	

	術 鼠径ヘルニア						
060330XX02XXXX	胆嚢疾患（胆嚢結石など） 腹腔鏡下胆嚢摘出術等	-	8.0	6.8	0.0	63.6	

当科は、虫垂炎、下肢静脈瘤の患者数が多く、平均在院日数は全国平均と比較して同じです。近年は患者さんに負担をかけないよう腹腔鏡下の手術にも力を入れ、消化器疾患（胃、大腸、肝臓、胆のう等）や血管（乳腺、甲状腺）など、幅広い疾患に対応しております。集計対象外ですが鼠径ヘルニアの患者数も多くなっています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■ 整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
160620XX01XXXX	肘, 膝の外傷（スポーツ障害等を含む） 腱縫合術等	139	10.9	11.9	0.0	40.3	
070230XX01XXXX	膝関節症（変形性を含む） 人工関節再 置換術等	118	36.0	26.3	0.8	78.3	
160800XX01XXXX	股関節大腿近位骨折 人工骨頭挿入術 肩, 股等	110	35.5	27.6	45.5	84.6	
160690XX99XX0X	胸椎, 腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷 を含む） 手術なし 定義副傷病なし	64	28.4	20.6	7.8	75.6	
070230XX02XXXX	膝関節症（変形性を含む） 骨穿孔術等	53	37.1	30.5	0.0	65.5	

当科は一般整形と関節外科（主に膝・股関節）に分けて診療を行っています。大腿骨骨折や変形性膝関節症の平均年齢は75歳以上の患者さんが多いですが、膝の外傷の平均年齢は40歳であり、どちらも県外からの患者さんも多く占めています。大腿骨骨折は地域の病院と連携して一貫した診療体制であるため転院割合が高い傾向となっています。また圧迫骨折や椎間板ヘルニア等整形疾患全般について幅広く治療を行っています。

■ 形成外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
080250XX9700XX	褥瘡潰瘍 手術あり 処置1なし 処置2なし	-	2.2	28.4	0.0	88.6	
070570XX010XXX	瘢痕拘縮 瘢痕拘縮形成手術 処置1なし	-	3.7	6.2	0.0	9.0	
070010XX010X0X	骨軟部の良性腫瘍（脊椎脊髄を除く） 四 肢・躯幹部腫瘍摘出術等 処置1なし 定義副傷病なし	-	6.3	5.9	0.0	49.7	
080011XX99XXXX	急性膿皮症 手術なし	-	22.0	12.0	0.0	72.5	
100100XX97X1XX	糖尿病足病変 手術あり 処置2あり	-	16.0	49.2	0.0	56.0	

当科は褥瘡潰瘍、皮膚腫瘍、熱傷、糖尿病皮膚病変疾患等の患者さんの治療を行っています。平均在院日数は全国平均と比較して短い傾向にあります。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■ 脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
010060X2990401	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内, かつ, J CS10未満） 手術なし 処置1なし 処 置2_4あり 定義副傷病なし 発症前Ra nkin Scale 0, 1又は2	49	25.1	16.5	22.4	70.7	
160100XX97X00X	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 処置2 なし 定義副傷病なし	41	14.0	9.9	2.4	78.1	
160100XX99X00X	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 処置2なし 定 義副傷病なし	31	13.9	7.5	0.0	61.5	

010040X099X00X	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10未満）手術なし 処置2なし 定義副傷病なし	17	48.9	19.4	35.3	75.4
010060X2990411	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満）手術なし 処置1なし 処置2__4あり 定義副傷病1あり 発症前Rankin Scale 0, 1又は2	14	26.1	18.8	14.3	72.2

当科において最も多い疾患は、脳梗塞、続いて外傷性頭蓋内損傷、非外傷性頭蓋内血腫となっており緊急性の高い疾患が多くなっています。脳梗塞の全体件数は150件以上であり、超急性期脳卒中に対する血栓溶解療法（t-P A治療）の体制も整えています。入院後早期にリハビリ介入することで、日常生活自立を向上させ、入院前の状態に近づけることを目標にしています。平均在院日数が長い理由は、急性期治療後も地域包括ケア病棟においてリハビリの継続を希望される方にも対応しているためです。

■呼吸器外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
040040XX97X0XX	肺の悪性腫瘍 手術あり 処置2なし	13	16.5	12.7	0.0	72.6	
040200XX99X00X	気胸 手術なし 処置2なし 定義副傷病なし	-	7.8	9.1	0.0	72.4	
040200XX01X00X	気胸 肺切除術等 処置2なし 定義副傷病なし	-	7.0	10.1	0.0	24.5	
040040XX9905XX	肺の悪性腫瘍 手術なし 処置1なし 処置2__5あり	-	3.3	19.2	0.0	69.3	
040050XX99X3XX	胸壁腫瘍, 胸膜腫瘍 手術なし 処置2__3あり	-	24.5	20.4	0.0	75.5	

日本人の死因第1位はがんであり、その中で肺癌がトップであります。当科は肺癌や気胸の治療を胸腔鏡併用手術で行っています。ご高齢の患者さんでも安心していただける手術を心がけています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■産婦人科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
120170XX99X0XX	早産, 切迫早産 手術なし 処置2なし	93	20.7	20.8	1.1	28.9	
140010X199X00X	妊娠期間短縮, 低出産体重に関連する障害(出生時体重2500g以上) 手術なし 処置2なし 定義副傷病なし	52	3.4	6.2	1.9	0.0	
120260XX01XXXX	分娩の異常 子宮破裂手術等	51	9.6	9.8	0.0	32.5	
120260XX99XXXX	分娩の異常 手術なし	48	6.3	4.8	0.0	29.9	
120150XX01XXXX	妊娠早期の出血 子宮頸管縫縮術	27	10.4	19.4	0.0	29.1	

当科は分娩に関連する産科疾患が上位を占めています。集計対象外ですが、分娩件数は481件/年となっており、坂出市内はもとより高松市、宇多津町、丸亀市などからも受診されております。

■眼科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
020320XX97XXXX	眼瞼, 涙器, 眼窩の疾患 手術あり	-	2.0	3.5	0.0	78.3	
020250XX97XXXX	結膜の障害 手術あり	-	1.5	3.4	0.0	61.5	
020200XX99X4XX	黄斑, 後極変性 手術なし 処置2__4あり	-	2.0	2.5	0.0	89.4	
020280XX97XXXX	角膜の障害 手術あり	-	7.0	11.1	0.0	58.3	
180060XX97XXXX	その他の新生物 手術あり	-	1.5	6.8	0.0	75.0	

当科は集計対象外に加齢性白内障患者数が450件を超えており最も多く、当院の全診療科の中で最も実績が多いです。また地域のクリニックに当院の手術室を利用していただき白内障手術をしています。さらに結膜の障害である翼状片、眼瞼疾患、黄斑変性、角膜の障害の患者さんの治療も行っています。平均在院日数は全国平均と比較して短い傾向にあります。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■耳鼻咽喉科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
030230XXXXXXX	扁桃, アデノイドの慢性疾患	13	8.8	8.1	0.0	12.3	
030440XX01XXXX	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫 鼓室形成手術	-	10.1	9.4	0.0	56.9	
030400XX99XXXX	前庭機能障害 手術なし	-	4.6	5.2	0.0	72.8	
030440XX02XXXX	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫 鼓膜形成手術	-	3.0	3.9	0.0	42.5	
030240XX99XXXX	扁桃周囲膿瘍, 急性扁桃炎, 急性咽頭喉頭炎 手術なし	-	3.5	5.5	0.0	34.8	

当科は小児の患者数が多い扁桃肥大・アデノイド増殖症、中耳炎、めまいに代表される前庭機能障害、扁桃炎の患者数が多く、平均在院日数は全国平均と比較してほぼ同じです。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
110070XX0200XX	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 処置1なし 処置2なし	15	10.3	7.4	0.0	73.7	
110280XX99000X	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 処置1なし 処置2なし 定義副傷病なし	13	14.8	12.8	7.7	72.2	
110420XX97XX0X	水腎症(その他) その他の手術あり 定義副傷病なし	-	3.1	5.3	0.0	66.2	
110280XX02X00X	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術, 吻合術 その他の動脈等 処置2なし 定義副傷病なし	-	11.9	8.9	0.0	63.8	
11012XXX99XX0X	上部尿路疾患 手術なし 定義副傷病なし	-	4.3	5.3	0.0	58.1	

当科は集計対象外ですが尿管結石の患者数が最も多く、体外衝撃波腎・尿管結石破碎術の治療を主に行っています。次いで集計対象外ですが、前立腺がんの生検検査も数多く行っています。また膀胱癌、膀胱腫瘍、水腎症等についても幅広く治療を行っています。慢性腎不全の治療は院内に透析センターがあり、入院・外来にて透析治療を行っています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■呼吸器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
040120XX99000X	慢性閉塞性肺疾患 手術なし 処置1なし 処置2なし 定義副傷病なし	15	19.4	13.9	6.7	79.8	
040081XX99X00X	誤嚥性肺炎 手術なし 処置2なし 定義副傷病なし	13	55.1	21.3	61.5	84.4	
040100XXXXX00X	喘息 処置2なし 定義副傷病なし	10	8.6	6.4	0.0	55.8	
040040XX99000X	肺の悪性腫瘍 手術なし 処置1なし 処置2なし 定義副傷病なし	-	24.3	14.8	11.1	76.4	
0400801499X012	肺炎等(市中肺炎かつ75歳以上) 手術なし 処置2なし 定義副傷病あり A-D	-	26.1	18.7	25.0	88.4	

当科は誤嚥性肺炎、市中肺炎、慢性閉塞性肺疾患が多く、長寿・高齢化に伴った影響があり、平均年齢は80歳を超えており平均在院日数も長い傾向となっていますが、急性期治療後、地域包括ケア病棟に転棟しリハビリ治療等行いながら退院調整を希望される患者さんが多いためです。市中肺炎については疾患分類が多様になったため上位疾患にはないですが患者数は多くなっています。また集計対象外ですが、睡眠時無呼吸症候群の検査も数多く行っています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

[ファイルをダウンロード](#)

	初発					再発	病期分類基準（※）	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	13	-	-	11	-	-	1	7
大腸癌	12	-	15	19	-	13	1	7
乳癌	-	-	-	-	-	-	1	7
肺癌	-	-	-	21	-	-	1	7
肝癌	-	-	-	-	-	-	1	7

※ 1：UICC TNM分類，2：癌取扱い規約

当院の特徴として平成28年度の5大癌合計は、胃癌32（21%）、大腸癌64（41%）、肝癌4（3%）、肺癌39（25%）、乳癌16（10%）、計155です。

患者数としては、大腸癌が最も多くなっており、次いで肺癌、胃癌となっております。患者さんに応じて腹腔鏡手術をはじめとする低侵襲治療から抗がん剤治療、放射線治療まで幅広く医療が提供できる体制を整備しています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

成人市中肺炎の重症度別患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	-	8.3	61.8
中等症	98	22.6	76.5
重症	52	35.9	84.1
超重症	42	28.4	84.2
不明	-	-	-

市中肺炎とは、病院外で日常生活をしていた人に発症した肺炎をいいます。院内での発症は含みません。重症度分類は、A-DROPスコアを用い、軽症から超重症の4つに分類しています。

日本人の死因第3位は肺炎であり、高齢化に伴い多くなる疾患であります。当院では重症度が中等症の患者数が最も多くなっています。重症度が高くなるほど平均年齢が上がり平均在院日数も長くなる傾向となっています。高齢で合併症を併せ持つ肺炎は重症化するケースもあり、適切な抗生剤の使用や酸素療法を行っています。また筋力・体力低下を防ぐために早期よりリハビリを開始しています。

脳梗塞のICD10別患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

ICD10	傷病名	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群	-	15	9.0	75.9	0.0
G46\$	脳血管疾患における脳の血管(性)症候群	-	-	-	-	-
I63\$	脳梗塞	-	146	34.7	74.3	27.4
I65\$	脳実質外動脈の閉塞及び狭窄，脳梗塞に至らなかったもの	-	-	-	-	-
I66\$	脳動脈の閉塞及び狭窄，脳梗塞に至らなかったもの	-	-	-	-	-
I675	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	-	-	-	-	-
I679	脳血管疾患，詳細不明	-	-	-	-	-

K0821	人工関節置換術（肩・股・膝）	174	2.2	34.0	1.7	75.4	
K0461	骨折観血的手術（肩甲骨・上腕・大腿）	139	3.3	31.8	36.0	79.4	
K0483	骨内異物（挿入物を含む）除去術（前腕・下腿）	100	0.9	6.8	0.0	55.7	
K068-2	関節鏡下半月板切除術	81	0.9	6.4	0.0	52.5	
K0542	骨切り術（前腕・下腿）	70	1.4	33.7	0.0	65.0	

変形性関節症、リウマチ、骨頭壊死に対する人工関節置換術や骨切り術、大腿骨骨折やその他骨折に対する骨接合手術、原疾患手術施行後の抜釘手術、膝の外傷（半月板損傷等）に対する関節鏡下半月板切除術が主な手術です。術後地域包括ケア病棟での日常生活自立の回復目的の手厚いリハビリを行っているため平均術後日数は長くなっています。大腿骨骨折については地域の病院や施設を連携しているため、転院後治療を継続する方が多いです。

■ 形成外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0301	四肢・躯幹部腫瘍摘出術（躯幹）	-	1.0	4.3	0.0	47.7	
K0102	瘢痕拘縮形成手術（その他）	-	1.0	1.0	0.0	5.0	
K2961	耳介形成手術（耳介軟骨形成を要する）	-	1.0	3.0	0.0	15.0	
K426-21	口唇裂形成手術（両側）（口唇のみ）	-	2.0	6.0	0.0	18.0	
K013-21	全層植皮術（25cm ² 未満）	-	12.0	12.0	0.0	62.0	

軟部腫瘍摘出術、熱傷後に対しての瘢痕拘縮形成術、難治性皮膚潰瘍等、原疾患治療後の皮膚欠損に対する植皮術を行っています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■ 脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	35	1.9	12.6	2.9	79.9	
K145	穿頭脳室ドレナージ術	-	2.0	15.0	0.0	75.4	
K1692	頭蓋内腫瘍摘出術（その他）	-	12.0	40.3	25.0	68.8	
K1642	頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜下）	-	0.5	75.5	50.0	75.3	
K1643	頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内）	-	1.5	93.5	75.0	75.0	

慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術、穿頭脳室ドレナージ術、頭蓋内血腫除去術（開頭して行うもの）、頭蓋内腫瘍摘出術が主な手術です。緊急性の高い手術が多く、24時間対応しています。機能障害を有する症例では術後の療養期間を要することが多く、周術期からリハビリを実施し中長期的な病状回復に努めています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■ 呼吸器外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K514-23	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超える）	-	1.0	18.5	0.0	75.3	
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）	-	1.0	11.0	0.0	71.4	
K5131	胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除））	-	1.3	4.8	0.0	24.5	
K386	気管切開術	-	20.8	96.4	88.9	70.6	
K5143	肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超える）	-	1.0	13.0	0.0	65.0	

肺癌に対して胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術を行っています。また若年層に突発的に生じることが多い自然気胸の根治術として、原因となるのう胞と呼ばれる袋を胸腔鏡下にて切除する手術を行っています。気道閉塞の予防、呼吸不全の呼吸管理のために気管切開術も行っています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■ 産婦人科

Kコード	名称	患者数	平均	平均	転院率	平均年齢	患者用パス
------	----	-----	----	----	-----	------	-------

			術前日数	術後日数			
K8982	帝王切開術（選択帝王切開）	58	4.6	7.1	0.0	32.2	
K9061	子宮頸管縫縮術（マクドナルド法）	28	1.7	3.7	0.0	29.6	
K9091	流産手術（妊娠11週まで）	20	0.7	0.0	0.0	31.7	
K8981	帝王切開術（緊急帝王切開）	18	2.6	7.2	0.0	31.5	
K867	子宮頸部（腔部）切除術	15	0.9	2.0	0.0	40.8	

市内で唯一の分娩取扱医療機関のため帝王切開術、稽留流産手術、子宮頸管縫縮術が主な手術となっています。また子宮頸部上皮内腫瘍に対する子宮頸部切除術をしており、短期間の入院で治療ができます。

■ 眼科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K2821 □	水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）（その他）	457	0.0	0.3	0.9	75.1	
K224	翼状片手術（弁の移植を要する）	-	0.0	0.5	0.0	61.5	
K2172	眼瞼内反症手術（皮膚切開法）	-	0.0	1.0	0.0	78.3	
K2822	水晶体再建術（眼内レンズを挿入しない場合）	-	0.0	1.0	0.0	81.0	
K259	角膜移植術	-	1.0	7.5	0.0	45.5	

白内障に対して水晶体再建術の件数が圧倒的に多く、他医療機関の先生と共同して診察もしています。次いで、翼状片手術（弁の移植を要するもの）、眼瞼内反症手術（皮膚切開法）、角膜移植術を行っています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■ 耳鼻咽喉科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K3772	口蓋扁桃手術（摘出）	10	1.0	8.1	0.0	14.4	
K319	鼓室形成手術	10	0.9	8.2	0.0	57.7	
K318	鼓膜形成手術	-	1.0	1.0	0.0	42.5	
K370	アデノイド切除術	-	1.0	2.3	0.0	5.3	
K339	粘膜下鼻甲骨切除術	-	1.0	1.3	0.0	46.3	

口蓋扁桃手術（摘出）、鼓室形成手術、鼓膜形成手術が主な手術となっています。またアデノイド切除術、粘膜下鼻甲骨切除術も行っています。小児の入院あり短期間の入院で退院することが可能となっています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■ 泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K768	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	46	0.0	1.3	0.0	54.4	
K8036 1	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用のもの	17	1.5	8.7	0.0	73.6	
K610- 3	内シャント設置術	11	2.5	11.0	0.0	60.8	
K783- 2	経尿道的尿管ステント留置術	-	0.3	1.8	0.0	66.2	
K616- 4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	-	1.4	6.2	0.0	69.2	

体外衝撃波腎・尿管結石破碎術、膀胱悪性腫瘍手術、維持透析を開始するための内シャント設置術が主な手術です。体外衝撃波腎・尿管結石破碎術は平均1泊2日の入院となっています。内シャント設置術後は、シャント狭窄、感染症等の合併症発生予防のため透析センター・循環器内科と連携して、当院の透析患者のみならず他の病院で透析されている方も含め診察しています。また経尿道的尿管ステント

ト留置術、透析患者のシャント閉塞に対する経皮的シャント拡張術・血栓除去術も行っています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

[ファイルをダウンロード](#)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	0.17
		異なる	-	0.02
180010	敗血症	同一	10	0.19
		異なる	16	0.31
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	-	0.08
		異なる	16	0.31

「同一性」とは、入院の契機である疾患と入院中に主として治療した疾患が同一か否かと定義されています。

播種性血管内凝固は、様々な重症の基礎疾患により、過剰な血液凝固反応活性化が生じ全身の血管内に血栓が出来、臓器不全、出血傾向となる病態です。基礎疾患には、悪性腫瘍、敗血症、熱傷、外傷などの重症疾患があります。

敗血症は、体のある部分で感染症を起こしている場所から血液中に病原体が入り込み、重篤な全身症状を引き起こす病態です。原因として肺炎、尿路感染症、腹膜炎、褥瘡感染、悪性腫瘍などがあります。

手術・術後合併症は、手術処置後に合併した疾患で、当院は透析を行うために必要なシャントが血栓などで閉塞し、使用できなくなり、その治療（経皮的シャント拡張術、血栓除去術）目的で入院する患者さんが多いです。当院では泌尿器科と循環器内科が協力して治療をしています。起こり得る合併症に関しては、事前に十分な説明を行い、発症が最小限になるよう努めています。

発生率は、播種性血管内凝固は0.19%、敗血症は0.5%、その他の真菌感染症は0%、手術・術後の合併症は0.39%でありどの疾患も発生することは皆無に近い状態です。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

更新履歴

平成28年度 社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院 病院情報を公表しました。